

鎌倉武鑑

初篇

四

和書門		二七九三	類
冊架	函	八	冊

内閣文庫		和書
一五二函	二七九三	
一八	八	
架	冊	冊

内閣文庫	
番號	和 27993
冊數	8 (4)
函號	151 249



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



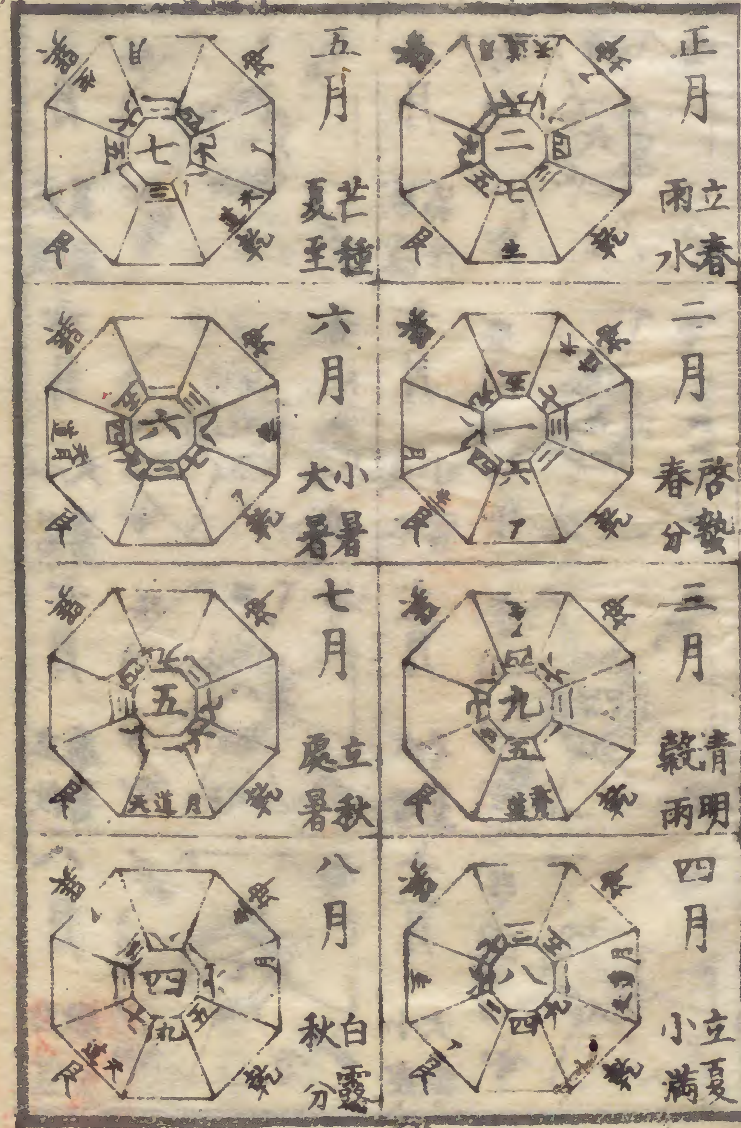
© Kodak, 2007 TM: Kodak



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

本伊

月 年亥巳申寅



秀義三男 源盛細 佐々木三郎 左兵衛尉	成細 木村源三 加地右兵衛尉	信實 盛李 佐々木左門尉	李忠 磯部左門尉 加地右兵衛尉	實秀 同 同 右門尉	信重 同 同 右門尉	資實 同 倉田五郎 左兵衛尉	美細 同 倉田五郎 左兵衛尉	時基 加地左門尉
------------------------------	----------------------	--------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	-------------------------	-------------------------	-------------

〇〇〇

備前 佐々木右兵衛尉盛細

蔵書記

登壇... 功あり... 馬... 古今... 紙... 伯... 妙... 〇〇〇

蔵書記

〇〇〇

金尾正金

氏細 加地左門尉
信朝 同八郎

敵中へ射て殺せしむ者は其時経るに
生捕も又獲金入りては其時利支一
男登屋一乗の坂へ向ひ力戦して
功務てかどくさるる孫傳おのほせ

同

秀義四男 佐々木四郎
源高綱 左門尉

重綱 同太郎
光綱 野木二郎左門尉



高尾の伴臣の國よりして経ひ奉るを
佐々木左衛門尉高綱 出雲

高重 同左門尉

け時と後修士務ありて是は後野が輩に
中とるの徳はよりて是は後野が輩に
別の勇力振つて漸く是は後野が輩に
あてて是は後野の勇力振つて漸く是は後野が輩に
今交付死とて一人の心と同一に日坂中上の軍
おのほせの軍を獲て其の功を自負する

鎌倉式目録

昔為を... 村山... 二子... 浦... 川... 世... 言... 小... 四... 味... 一... 勇... 矢... 不...

あ... 馬... 行... 中... 重... と... 勇...

稲毛 小山田

秩父太郎重弘二男 小山田刑當 平有重



稲毛 一郎重成

重成... 後守... 後守...

鎌倉道録

五十三

廉忠にして仁愛厚あはれ義全致のどし南方の東國よりあがき
 子息の希重保万共の角ええ幸時政が聲義をたす能
 と口論し時政の後家牧のより修せしむ依之向き希が為小致
 時政義時重たがた義義勇がせよていふ事もの妨とらふ故りて
 幸保が幸より付て重忠を須極と極報とていひてええ二年六月廿
 二日山内武敏重時房和由守尉義澄とてあつてて重忠の
 内家一人万敵強馳向入重忠の武列男舎致若首の敵由を
 と知りて謀叛の虚名紙中毎人為語念よ極くして二関川の邊
 由て付まるといふ合つて重忠が田原希播江の希が同敵の海軍の
 一万小舟の時方ハ修三百人急素肌一先若首を以て防我せん
 重忠が自分若首の付りて戦ひ重忠軍も多たれ不意の切よ
 重忠はとらふとて重忠の謀叛の事とて多量のた義重と
 「秀重 同 二郎
 幸六の重忠尉村修紙義のりて重忠の付りて重忠のあんと
 け時害せしむ

秩父権頭重綱二男
 平重隆 秩父二郎太夫
 能隆 葛貫別當
 重頼 川越太郎
 重房 同 小太郎
 重時 同 二郎
 重貞 同 三郎



川越太郎重頼
 武藏

重忠の重忠とたよ依屋の山内重忠
 重忠の所々の戦ふ切あり重忠川よてを
 重忠の所々の戦ふ切あり重忠川よてを
 重忠の所々の戦ふ切あり重忠川よてを
 重忠の所々の戦ふ切あり重忠川よてを

平重國 淡谷庄司

重佐 同右馬允

高重 同二郎

時國 同四郎

清重 同二郎左衛尉

息重依守治川とてあり佐右の字あり功あり二男ありまも
成南ありてまもまもりしと相田の義隆中平軍役あり討死す

土肥

良兼五代山邊禪師親尊
中村座圭宗平長男

平實平 土肥二郎

越平 同孫太郎

綱平 同先二郎
左工門尉

倫平 同先二郎
小早川二郎

景平 同先二郎
右兵工尉

茂平 同美作守
新庄二郎

おるしりともありてまもりしと相田の義隆中平軍役あり討死す

そのふまはつが崎のり房及屋敷ありまもりしと相田の義隆中平軍役あり討死す

佐の平お建付の時に西國の軍まもりとある平家とひて後

中國のなりと命せしはまもりしと相田の義隆中平軍役あり討死す

かろひりまもりしと相田の義隆中平軍役あり討死す

中平あり倫平の四郎なり



土肥二郎實平

相模

實平の佐藤伊豆山邊の討あり討死す
まもりしと相田の義隆中平軍役あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

山八郎の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

弟一の佐藤方右衛門山邊の討あり討死す

鎌倉正金

土屋

宗平二男
土屋三郎



土屋三郎宗遠
相獲

宗光
同三郎左門尉

我功あり多縁宗光にて

宗遠ハ七肥実平が背之伊豆内陸の
時より大坂まで松山を指りぬる
おのれは

梶原

良兼五代鎮守府將軍村岡
小五郎忠通三代梶原太郎
景久男
梶原太郎
平景長
同平三



梶原平三景時
相獲

景時ハ好む大倉俊時を信じて後ハ
後ハ好むと石橋山小倉の務利

朝景
同刑部丞

景貞
同右兵衛尉

景衡
同二郎

景盛
同三郎

景氏
同七郎

景李
同源太左門尉

景高
同平二左門尉

景茂
同三郎右兵衛尉

景國
同六郎

景宗
同七郎

景別
同八郎

景連
同九郎

景貞
同九郎

大倉俊時佐原の山に居て松山の奥
に居る時大倉俊時あり景時入る
る小佐原俊時よりあり景時頼り
頼りくとし今も頼りありと
運の足らぬれありと頼りの困
頼り引付けぬの頼り出でし
頼りぬれぬれあり大倉俊時頼り
とし小佐原俊時頼りあり
下で佐原のよしと頼りあり
頼りありと頼りありと頼りあり
頼りありと頼りありと頼りあり
頼りありと頼りありと頼りあり

萩野二郎

人月の事、かゝりての事、まふあはれ、さし、あつて、おと、切、記、せん、
 鳴、り、れ、ば、我、を、命、祐、後、双、方、海、の、ど、り、是、を、務、軍、と、り、て、依、后、
 と、行、り、じ、又、同、軍、の、三、倍、の、こ、も、ゆ、か、ら、ぬ、さ、ん、い、ふ、と、せ、り、と、
 引、興、り、て、行、る、を、海、の、ど、り、依、后、の、唐、台、に、遣、れ、り、い、ま、諸、將、
 へ、命、の、よ、け、功、又、援、解、た、り、る、南、方、も、捕、ま、り、て、軍、も、功、者、と、一、の、首、の、
 戦、ひ、ふ、え、ま、は、り、て、敵、兵、付、視、と、引、て、味、方、と、り、合、れ、ば、海、軍、の、人、を、
 幸、耐、是、等、ん、て、も、勢、ゆ、り、知、て、我、今、ま、ま、び、敵、陣、よ、向、る、必、首、
 と、多、く、さ、び、早、く、敵、の、軍、を、破、り、て、さ、る、敵、兵、と、合、り、て、さ、る、
 ま、り、味、方、の、我、が、各、領、の、合、領、と、一、帯、と、合、り、て、時、と、合、り、て、
 之、百、く、を、ま、の、九、も、備、へ、而、も、推、ま、り、切、り、入、り、初、め、の、こ、も、ま、あ、り、さ、る、
 備、へ、り、よ、は、り、さ、る、の、事、と、合、り、て、一、人、も、付、り、さ、る、敵、兵、と、合、り、て、
 付、り、さ、る、小、事、を、ま、り、さ、る、の、事、と、合、り、て、二、夜、の、時、に、は、り、さ、る、の、
 我、切、美、作、在、野、野、を、り、西、の、野、を、ま、り、の、別、當、と、合、り、て、出、陣、
 計、り、て、さ、る、れ、も、依、后、依、后、と、合、り、て、運、轉、の、事、論、よ、り、さ、る、
 義、經、頼、長、依、后、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、
 之、千、之、人、連、ち、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、
 依、后、一、の、官、亦、退、く、兼、て、依、后、の、者、も、同、志、の、旗、有、り、さ、る、の、事、と、合、り、
 及、運、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、
 國、津、入、陣、の、邊、に、さ、る、の、時、高、岡、の、内、家、人、并、依、后、上、屋、八、年、之、次、小、
 以、依、后、田、の、并、依、后、的、地、の、ゆ、り、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 か、る、惡、い、を、り、必、定、無、念、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 ざ、り、と、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 勇、を、推、し、入、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 て、吉、河、中、江、市、深、川、江、市、船、載、三、年、去、却、出、江、市、因、年、二、二、日、出、江、市、

鎌倉御成金
 三十七
 人月の事、かゝりての事、まふあはれ、さし、あつて、おと、切、記、せん、
 鳴、り、れ、ば、我、を、命、祐、後、双、方、海、の、ど、り、是、を、務、軍、と、り、て、依、后、
 と、行、り、じ、又、同、軍、の、三、倍、の、こ、も、ゆ、か、ら、ぬ、さ、ん、い、ふ、と、せ、り、と、
 引、興、り、て、行、る、を、海、の、ど、り、依、后、の、唐、台、に、遣、れ、り、い、ま、諸、將、
 へ、命、の、よ、け、功、又、援、解、た、り、る、南、方、も、捕、ま、り、て、軍、も、功、者、と、一、の、首、の、
 戦、ひ、ふ、え、ま、は、り、て、敵、兵、付、視、と、引、て、味、方、と、り、合、れ、ば、海、軍、の、人、を、
 幸、耐、是、等、ん、て、も、勢、ゆ、り、知、て、我、今、ま、ま、び、敵、陣、よ、向、る、必、首、
 と、多、く、さ、び、早、く、敵、の、軍、を、破、り、て、さ、る、敵、兵、と、合、り、て、さ、る、
 ま、り、味、方、の、我、が、各、領、の、合、領、と、一、帯、と、合、り、て、時、と、合、り、て、
 之、百、く、を、ま、の、九、も、備、へ、而、も、推、ま、り、切、り、入、り、初、め、の、こ、も、ま、あ、り、さ、る、
 備、へ、り、よ、は、り、さ、る、の、事、と、合、り、て、一、人、も、付、り、さ、る、敵、兵、と、合、り、て、
 付、り、さ、る、小、事、を、ま、り、さ、る、の、事、と、合、り、て、二、夜、の、時、に、は、り、さ、る、の、
 我、切、美、作、在、野、野、を、り、西、の、野、を、ま、り、の、別、當、と、合、り、て、出、陣、
 計、り、て、さ、る、れ、も、依、后、依、后、と、合、り、て、運、轉、の、事、論、よ、り、さ、る、
 義、經、頼、長、依、后、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、
 之、千、之、人、連、ち、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、
 依、后、一、の、官、亦、退、く、兼、て、依、后、の、者、も、同、志、の、旗、有、り、さ、る、の、事、と、合、り、
 及、運、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、て、さ、る、の、事、と、合、り、
 國、津、入、陣、の、邊、に、さ、る、の、時、高、岡、の、内、家、人、并、依、后、上、屋、八、年、之、次、小、
 以、依、后、田、の、并、依、后、的、地、の、ゆ、り、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 か、る、惡、い、を、り、必、定、無、念、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 ざ、り、と、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 勇、を、推、し、入、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、て、依、后、と、合、り、
 て、吉、河、中、江、市、深、川、江、市、船、載、三、年、去、却、出、江、市、因、年、二、二、日、出、江、市、

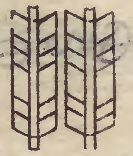
等助年つて大の戦ひ中も吉の忠告ハと命を成し行をな
系時着てちふまうと落せん時彼等の吉の忠告ハ分一の勇ま
り彼れハあせり時ハあせり下とを恐れとて團弁のくく進ふ
勢ありて攻くるわらふと命を成し命を成し命を成し命を成し
是とありと命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し
後食より命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し
と後半隊されバ引退と系時子なき中少婦も命を成し命を成し
寵はゆて命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し
又一の谷の戦ひハ敵軍ハ死なれ梅の影ハ敵軍ハ死なれ梅の影
さるると又系時命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し
借入と擇り引退への口をのりて命を成し命を成し命を成し
と命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し

系時の子系時の子系時の子系時の子系時の子系時の子系時の子
扈從の役と此の役ハ後代する空後の三事あると云ふ小山
謀が動る如るれとも後代する空後の三事あると云ふ小山
真と命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し
和田の義隆は一味して系時と好むと云ふ命を成し命を成し
系時が積悪くして是と謀り千載の仇ハ後と云ふ命を成し
後及流が後及流の親吉の傍に一基の石碑と云ふ命を成し
命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し命を成し

大庭

忠通三代権五郎景政二代
鎌倉太郎景忠長男

平景房 大庭庄司



大庭平太景義

相模

系時ハ懐為持殿と稱して保元の軍ハ

鎌倉正金

五十七

鏡倉正金

景親 同三郎

景久 侯野五郎

景兼 大庭小二郎

の古きよき... 景親の... 景久の... 景兼の... 長尾新六... 景政四代二郎景弘二男... 平定景... 景茂... 景久... 景兼... 長尾新六... 景政四代二郎景弘二男... 平定景... 景茂... 景久... 景兼...

長尾

景政四代二郎景弘二男
平定景 長尾新六

景茂 同平内左門尉
景久 同二郎左門尉



長尾新六定景
相模

とたよ... 景茂... 景久... 景兼... 長尾新六... 景政四代二郎景弘二男... 平定景... 景茂... 景久... 景兼...

鏡倉正金

六十

石を浴小ありひてなみろく小名尾に事か終の中より
傳ひあがりたり事実ゆゑまよと仰はさる事言てこれに
乙種ゆゑに善忠を討つる戦場のありひりてしるす
善忠多ればおまよふ事我今因て必死に首級割ら
死して後存の鬼を殺て善忠を討つるも師依て彼
魂を磨りて大徳の功を彰ひ又我身の罪深消滅の
ゆゑと一日百善を積むる事善忠を討つるも
行ふも私の恨みのゆゑとていふ事善忠を討つるも
ふれと右幕少佐事助命を討つる事善忠を討つるも
も尾をれをさもつる事善忠を討つるも
小別は是よりたをさる事善忠を討つるも
梨室綱云と裁しむし時に曉の付るに探手れおのりて

工藤

右大臣武智麻呂七代駿河守
維景四代

藤原家次

狩野四郎大夫

祐次	工藤灌武者所 入道病心
祐親	伊東二郎入道
家光	工藤四郎
茂光	狩野介



工藤左衛門尉祐經
伊豆

祐經ハ先祖維系より代々伊豆守に
之は其の在りしを以て祐次ハ伊東
氏を祐親ハ伊豆の在りしを以て
兄弟の仲不和ありて出入る事あり
祐次ハ道々寂々として入る事あり

トク射のよ終事て社程瓜付く一得して其子河津三平社
家と射教を社程射と撰せどもあへども以末をれとて後
社程の平家ののみ後成とせんとするは二男九弟社程後成
許てひそふ小條へ流しやと東國一統の後成を平家保平も
中れば社程又子中免おれども社程の應て自害に社程の幼少の
大切の成に成りども美と善んて平家後成の藤原合戦お供
野系之と善ん付て其在成とかく社程の成家へ成
旧成のよ久事系成よりそ物訓さ成改事よ参り又その
作程の裁判よ妻一左衛門尉よ任せり一編と稱せり成の
寵厚ゆて出成才一之成り小條又よ彼成威積ありて成智
勝さるると情と終成入平の妨げとあへん平と成河津
社系成りども一就成よ母よ成の成我成系社成成作よ成

けれ看る瓜夫とさく情と成事成の時成系一成成せり成時
成と成事あへ成事よ社成成社成成成り成成成て後成言
の成を成り成久は平又月成百富士の成物成の成成我成
の老成を小成入る成成道一と社成成付成成又成成時
成の成成て小成は聞成成る右成平少の成成社成成教成成れば一成
成と成成んと成成の内へ成入る成成て成成の成成成成成
成の成成成成と成入る成と成成成り成成成の中成も一成又成子
成成成成と成成と成成成南三系成河小成系加成成海成小成系
成成成成系成系成成成成成成成成成成成成成十人見成小
成成成合ひて成成小成成成成成成成成成成成成成成成成成成
成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成

皆々是より所々... 中野 小諸 本間 二宮 豊前 手越 飯富

鎌倉武鑑初編畢

大江	島津	大友	宇都宮	八田	中條	山内	鐵田
尾藤	那須	加藤	後藤	近藤	宇佐美	狩野	工藤
波多野	松田	河村	原	岡部	船越	三階堂	安達
編富	榎林	伊賀	毛呂	天野	熊谷	平山	仁田
猪俣	海老名	比企	金子	糟屋	安西	田代	河野
江	市川	横山	三善	飯田	高橋	白井	原田
水谷	安保	愛甲	海野	吉河	兒玉	真壁	小栗
曾我	金丸	東條	九	藤田	斤岡	堀	小栗
安藤	中野	小諸	本間	二宮	豊前	手越	飯富

文政二年己卯春正月

書肆

尾州名護屋玉屋町 永樂屋東四郎
江戸小傳馬町三丁目 葛屋重三郎
同 同所
同 馬喰町附木店 丁子屋平兵衛
同 見屋吉右衛門

三編嗣出

